

一橋大学大学院—公共政策セミナー—
 第2回講義：横塚 仁士 氏
 「公共経営における社会的責任（CSR）のあり方」
 ～CSR の概要と公的主体の経営について～

(株)大和総研／産学連携室

講義日（場所）	講師	講義概要／質疑応答
4/28(木)16:15 （神田・学術総合センター 内：4F第5講義室）	資本市場調査部・主任研究員 横塚 仁士 氏	<p><講義概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「公共経営における社会的責任（CSR）のあり方」をテーマに、CSR の定義、企業経営と CSR、地球環境問題の社会・経済への影響、投資の視点から CSR に着目する社会的責任投資（SRI）、日米欧アジアでの CSR に関する動向など広範に解説。 ・ 本講座後半で予定のプレゼンテーション課題(6/16)は、鉄道・電力・水道などの事業体経営における CSR 課題を挙げるとともに、事業体としてどう取り組むべきかを国内外の事例を参照して論ぜよとしている。 <p><主な質疑応答></p> <p>(Q)CO2 と地球温暖化の明確な因果関係を調べた事はあるか？</p> <p>(A)一般的には、IPCC の調査結果が広く引用されているが、反対論があることも事実である。しかし、反対論があるから温暖化対策への取り組みが不要ということではなく、現実には起きている旱魃や洪水の発生、砂漠化、森林減少など自然環境の変化を踏まえ、企業として地球環境問題の解決にどのように取り組んでいくかが重要である。</p> <p>(Q)企業にとって CSR 活動と資金調達の関係はどうか？一部では、環境融資といったスタイルもあるが影響はあるのか？</p> <p>(A) 米国では環境に配慮した企業へ投資資金が流れるような傾向があり、日本でもエコファンドなどが徐々に増えているが、市場規模としてはまだ小さい。また、最近ではインパクトインベストメントという社会貢献型投資に注目が集まっており、大和証券グループではワクチン債などの投資商品を販売している。</p> <p>(Q)環境／社会／ガバナンスという ESG の概念は CSR の考え方として確立された考え方であるのか？</p> <p>(A) CSR には様々な見方がある。今回の授業では、近年投資家が ESG という要素から CSR に注目していることもあって、一つの切り口として ESG という分類で紹介した。</p> <p>(Q)CSR と事業活動は別物かそれとも本業ですべきことなのか？</p> <p>(A)日本では現在も社会貢献活動の延長として CSR が捉えられることがあるが、CSR は企業経営全般にかかわることであり、本業ですべきことと考えている。</p> <p>(Q)コミュニティービジネスの具体例は？</p> <p>(A)保育サービス、フードデザートなどがある。</p>

		<p>(Q)各企業の CSR の取組に対する評価尺度はあるのか？</p> <p>(A)CSR 報告書をベースとしたランキングは海外の研究機関や国内では東洋経済等がいくつかの組織が実施している。ただ、CSR に関する確立された統一尺度はないため、今後はその標準化が CSR 普及の上で重要な鍵となる。</p>
--	--	---

以上